**専門医新規申請時研修会出席、業績発表確認用シート（2022.4.1以降の申請者より適用）**

**１．研修会出席単位（専門医制度規則第10条(4)）**

認定医または関連学会認定医に登録後本学会学術大会における①認定医・専門医教育講演を2回以上、ならびに②日本歯科専門医機構が定める「共通研修」を毎年度2単位/年度受講していること

**※出席したことがわかる証明書のコピーを次頁に添付して下さい。なお、コピーには番号を付けて下さい。**

|  |
| --- |
| **①日本歯周病学会認定医・専門医教育講演** |
| 研修会名 | 期　　日 | ※受講証明等添付ｺﾋﾟｰ№ |
| 記載見本第64回春季学術大会　認定医・専門医教育講演 | 2021年5月21日～6月22日 | ① |
|  |  |  |
|  |  |  |

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

|  |
| --- |
| **②日本歯科専門医機構「共通研修」** |
| **【COVID-19感染拡大による特例措置（2022.4.1現在）】**特例1：2021年度の2単位/年度受講が難しい場合、不足分の受講を2022年度へ繰越することが認められております。なお、2020年度の2単位/年度受講が叶わなかった場合も同様です（従来の経過措置が継続されます）特例2：同一開催期間に受講できる共通研修の受講は2単位が上限ですが、2021年度の機構主催の共通研修のみ、3単位に上限が緩和されました。 |
| 研修区分 ①医療倫理、②患者・医療者関係の構築、③医療安全、④院内感染対策、⑤医療関連法規・医療経済 | 受講年度 | 受講期日 | 研修会名 | 主催者名 | ※受講証明等添付ｺﾋﾟｰ№ |
| 単位累計 | **①**必須 | ② | ③必須 | ④必須 | ⑤ | ※年度：4月1日～3月31日を指す |
| 記載見本 |  |  | **〇** |  |  | 2021 | 2022年1月20日～3月18日 | 医療安全委員会企画講演（オンデマンド開催） | 日本歯周病学会 | ③ |
| **1単位目** |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| **2単位目** |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| **3単位目** |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| **4単位目** |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| **5単位目** |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| **6単位目** |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| **7単位目** |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| **8単位目** |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| **9単位目** |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| **10単位目** |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 〇の合計 |  |  |  |  |  | ←〇の個数を数値で記載願います |
| **１つ以上** |  | **１つ以上** | **１つ以上** |  |



※共通研修は「日本歯科専門医機構が承認しているもの」のみとなります。

対象となる研修は下記よりご確認ください。

　https://jdsb.or.jp/training.html

日本歯周病学会主催分は次ページをご参照ください。

【確認欄】　※確認したらチェックをつけてください。１）・２）、3）、ならびに4）にチェックがつけば要件を満たしております

□　１）①医療倫理、③医療安全、④院内感染対策の共通研修受講歴が１回以上あること

□　２）2023年度までに共通研修受講歴が８回（８単位）あること

□　３）同一開催期間で３回（３単位）以上の共通研修受講歴がないこと

→ある場合、特例の確認

　□　３－特例）2021年度の機構主催共通研修を１度に３回（３単位）受講している

□　４）年度（4月1日～3月31日）毎に共通研修受講歴が２回（２単位）あること

→ない場合、特例の確認

　□　４―特例）2020年度、2021年度の共通研修受講不足分を2022年度までに受講し、共通研修受講歴が2023年度分を合算して合計で８回（８単位）あること。過年度分で余剰となった受講歴がある場合、翌年度に充当していないこと。

**（参考）承認済（予定）の日本歯周病学会開催分「歯科専門医共通研修」一覧**

| **年度** | **演題** | **演者名** | **開催時期** | **研修区分** | **単位数** |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 2020 | 第63回秋季:認定医・専門医教育講演日常臨床におけるデータ収集と管理の重要性 | 辰巳順一 | 2020年10月16日～11月30日 | ①医療倫理(旧課程Ⅰ①) | １ |
| 第63回秋季:倫理委員会企画講演研究倫理・規制の最新動向と歯科医療に必要な留意点 | 栗原千絵子 | 2020年10月16日～11月30日 | ①医療倫理(旧課程Ⅰ①) | １ |
| 2021 | 第64回春季:倫理委員会企画講演倫理申請する側と倫理審査する側に求められるもの | 岸　光男 | 2021年5月21日～6月22日 | ①医療倫理(旧課程Ⅰ①) | １ |
| 第64回春季:認定医・専門医教育講演｢これからの医療安全｣に向けて,もう一歩踏み込む,もう一度見直す ～｢ヒューマンエラー｣｢バイアス｣｢RCA（根本原因分析）｣,そして｢確認｣～ | 鮎澤純子 | 2021年5月21日～6月22日 | ③医療安全(旧課程Ⅰ②) | １ |
| 第64回秋季:倫理委員会企画講演研究倫理★日本歯科専門医機構の指導により講演タイトルを「学会員のための倫理申請」から「研究倫理」に変更し、発行される受講証明書も同様となっております。当初のプログラム名と講演名が異なりますが、受講証明書の取得単位は有効となっておりますのでご安心ください。 | 佐藤秀一 | 現地開催2021年10月16日WEB配信期間2021年11月1日～11月30日 | ①医療倫理(旧課程Ⅰ①) | １ |
| オンデマンド開催：医療安全委員会企画講演「医療の質と安全管理」を見つめ直す －ノンテクニカルスキルからレジリエンスエンジニアリングまで－ | 河口浩之 | 2022年1月20日～3月19日 | ③医療安全(旧課程Ⅰ②) | １ |
| 2022 | 第65回春季:医療安全委員会企画講演患者安全の全体像と展望 | 長尾能雅 | 現地開催2022年6月4日WEB配信期間2022年6月20日～7月27日 | ③医療安全 | １ |
| 第65回秋季:医療安全委員会企画講演サイレントパンデミック時代を迎えて | 大毛宏喜 | 現地開催2022年9月2日(医療)2022年9月3日(倫理)WEB配信期間2022年9月20日～10月24日 | ④院内感染対策 | １ |
| 第65回秋季:倫理委員会企画講演人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針の内容と2022改正 | 高島響子 | ①医療倫理 | １ |
| 2023 | 第66回春季: 大会校企画講演「院内感染対策」 | 村上圭史 | 現地開催2023年5月26日(大会校)2023年5月27日(医療)WEB配信期間2023年6月20日～7月20日 | ④院内感染対策(申請中) | １ |
| 第66回春季:医療安全委員会企画講演患者・医療者間の信頼関係の構築に向けてー対人コミュニケーションの視点からー | 吉田登志子 | ②患者・医療者関係の構築(申請中) | １ |
| 第66回秋季:倫理委員会企画講演歯科医師・歯科医療に関わる法規の概要と特徴 | 大室俊三 | 現地開催2023年10月14日WEB配信期間2023年11月予定 | ⑤医療関連法規・医療経済(申請予定) | １ |
| 2024 | 第67回春季:医療安全委員会企画講演ヒューマンエラー防止の心理学 | 重森雅嘉 | 現地開催2024年5月25日WEB配信期間2024年6月予定 | ③医療安全 | １ |

受講証明等、コピー添付欄

　　（大きな物は縮小コピーにして下さい。）

受講証明等、コピー添付欄

　　（大きな物は縮小コピーにして下さい。）

**２．業績発表単位（専門医制度施行細則附表1）**

業績発表10単位以上（附表3の2で定める「業績発表」のとおり）

**※発表したことを証明する学会・研修会プログラムや講義を行ったという証明などのコピーを次頁に添付して下さい。なお、コピーには番号を付けて下さい。**

参考１）業績発表対象となる学術大会など

|  |
| --- |
| 1)本学会学術大会 |
| 2)本学会臨床研修会 |
| 3)本学会認定医・専門医教育講演(更新時毎に2回以上の出席が必要) |
| 4)本規則第10条第2項(1)に定める関連学会の学術大会および研修会 |
| 5)本規則第10条第2項(1)に定める関連学会の支部教育研修会 |
| 6)日本歯科保存学会 |
| 7)日本歯科医学会総会 |
| 8)米国歯周病学会(AAP) |
| 9)専門医委員会が認めた歯周病に関する学会および研修会※事前に専門医委員会が認めた歯周病に関する学会および研修会のみ |

参考２）業績発表単位

 単位数

|  |  |
| --- | --- |
| 1)参考１の学会または研修会での演者(1回あたり) | 10 |
| 2)参考１の学会の会誌またはその他の学術雑誌への投稿論文筆頭者(1回あたり) | 10 |
| 3)1)，2)の共同発表者 | 5 |
| 4)著書(歯周病学に関連のある著書1冊あたりの単位) |  |
| ①筆頭者 | 10 |
| ②共同著者 | 5 |
| 5)大学，歯科医師会または研修会での歯周病に関する発表 | 5 |
| 6)大学や歯科衛生士学校などの教育機関における歯周病に関する講義 | 5 |
| （1回あたり、講義を行った事を証明する書類、または主任教授の証明書が必要。ただし，教育機関常勤者は単位算定対象から除外する。） |  |
| 7）大学や歯科衛生士学校などの教育機関における歯周病に関する基礎実習 | 5 |
| （1年度1回に限る。実習指導を行った事を証明する書類、あるいは主任教授の証明書が必要。ただし，教育機関常勤者は単位算定対象から除外する。） |  |

(1)　学会発表

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 演題名 | 学会名 | 発表年月日 | おもな共同研究者の所属と氏名（１名） | 単　位 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

(2)　論文・著書

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 論文・著書題名 | 発表雑誌又は書名 | 　巻号　頁 | 出版社 | 出版年月日 | 単著・分担・共著（おもな共同著者１名） | 単　位 |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

　(3)　講　義

※令和4（2022）年4月1日より、教育機関常勤者は単位算定対象外となります。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 講義名（または内容） | 会場名（対象人数） | 講義年月日 | 単　位 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

受講証明等、コピー添付欄

　　（大きな物は縮小コピーにして下さい。）